

芝用殺菌剤

クインテクト®

顆粒水和剤

有効成分：ピカルブトラゾクス…20%

新しいピシウム病害防除がここから始まる

QUINTECT®



株式会社 ニッソーグリーン

● 特長

- 1. 他剤のピシウム性病害の耐性菌に対して有効**
テトラゾリルオキシム系の新規骨格を有する殺菌剤です。核酸合成阻害剤のフェニルアミド系や、呼吸阻害剤のストロビルリン系の耐性菌に有効です。
- 2. 生活環の複数のステージに有効**
ピシウム属菌の生活環において6つのステージで阻害します。

- 3. 長い残効性**
弊社試験結果から2週間程度の残効性があります。
- 4. 耐雨性に優れる**
累積降雨200mm以上でも高い効果があります。
- 5. 芝への高い安全性**
これまでに芝を含む作物に薬害の発生事例がなく、周辺作物に対しても薬害の懸念が少ない殺菌剤です。

● 安全性

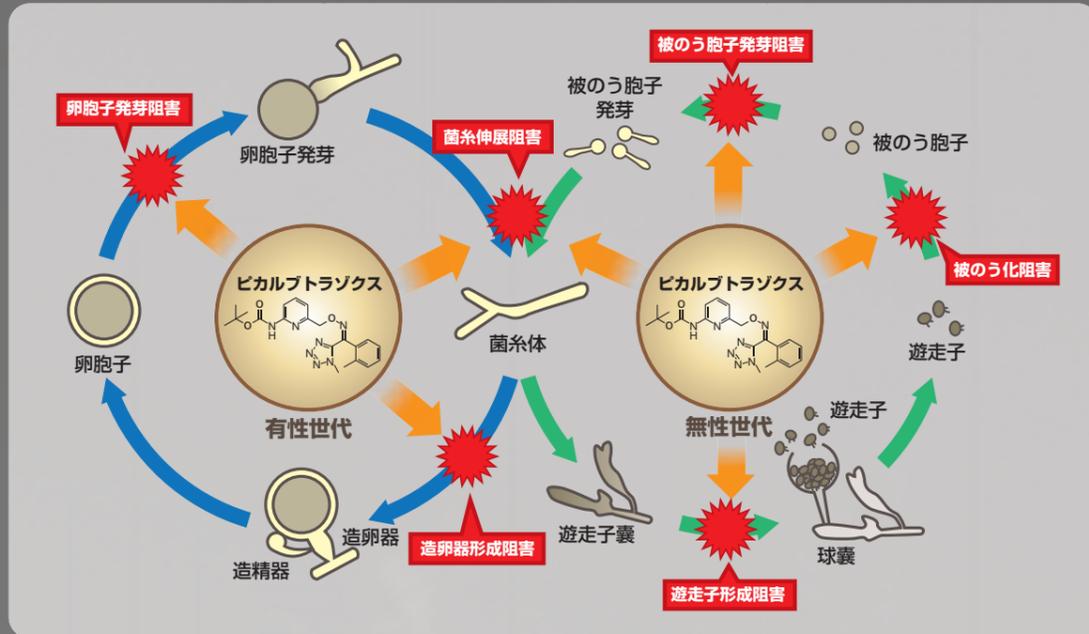
■人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

| | |
|---------------------------------------|----------------|
| 急性毒性 | 皮膚刺激性：なし |
| 経口 ラット(LD ₅₀): >2000mg/kg | 眼刺激性：極軽度の刺激性あり |
| 経皮 ラット(LD ₅₀): >2000mg/kg | 皮膚感作性：なし |
| | 変異原性：陰性(原体) |

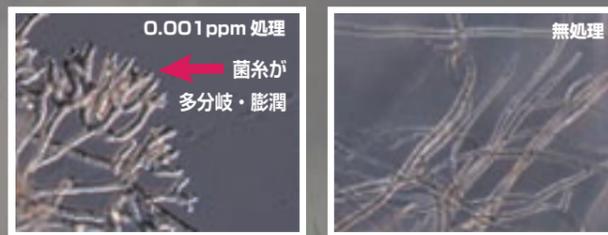
■水産動植物に対する影響

| | | |
|--------|---------------------------------|--------|
| コイ | (LC ₅₀): 621mg/L | (96hr) |
| オオミジンコ | (EC ₅₀): 480mg/L | (48hr) |
| 藻類 | (ErC ₅₀): >1000mg/L | (72hr) |

● ピカルブトラゾクスのピシウム属菌生活環上の作用点



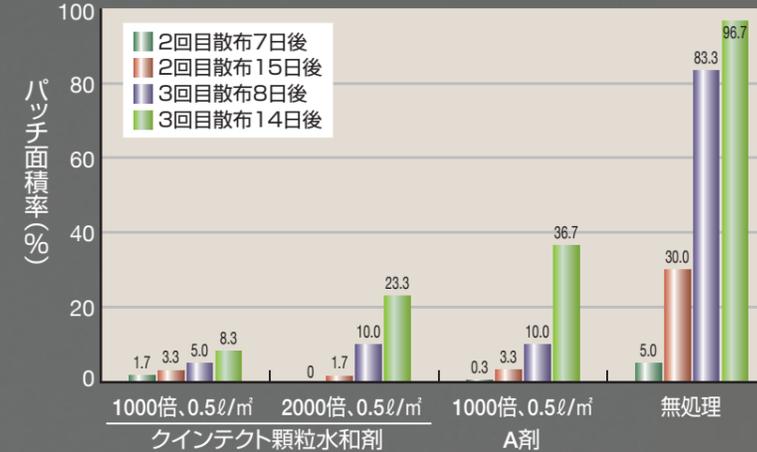
● ピカルブトラゾクス処理による菌糸の形態異常 (P.aphanidermatum)



● ピカルブトラゾクスの抗菌活性 (寒天平板希釈法)

| 病害 | 病原菌 | EC ₅₀ (ppm) |
|------------|-------------------------|------------------------|
| 赤焼病 | <i>P.aphanidermatum</i> | 0.0003 |
| ピシウム病(中温型) | <i>P.graminicola</i> | 0.0004 |
| ピシウム病(低温型) | <i>P.vanterpoolii</i> | 0.001 |
| 褐色雪腐病 | <i>P.iwayamai</i> | 0.002 |

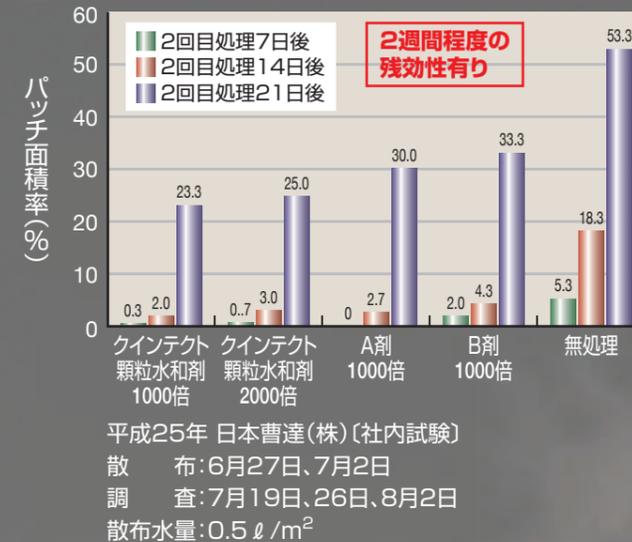
● 赤焼病に対する予防効果



平成24年 日本曹達(株) [社内試験]
接種: 7月19日(菌糸埋没)
散布: 7月19日、31日、8月16日

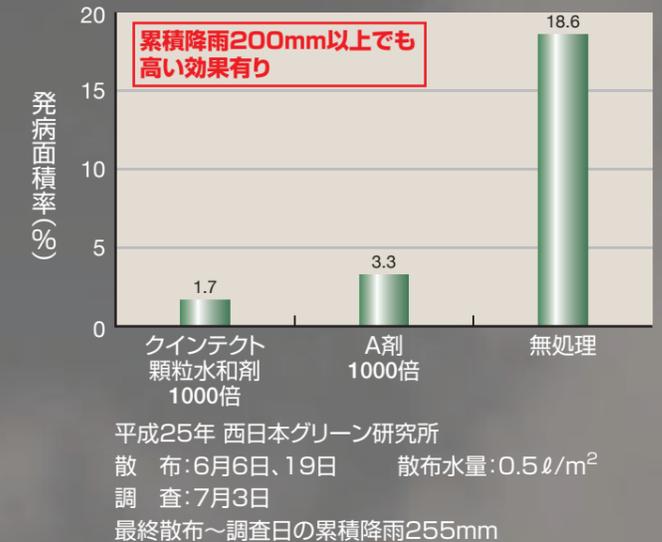


● 赤焼病に対する予防・残効性



平成25年 日本曹達(株) [社内試験]
散布: 6月27日、7月2日
調査: 7月19日、26日、8月2日
散布水量: 0.5ℓ/m²

● ピシウム病(中温型)に対する防除効果



平成25年 西日本グリーン研究所
散布: 6月6日、19日 散布水量: 0.5ℓ/m²
調査: 7月3日
最終散布~調査日の累積降雨255mm

● 発病初期散布によるピシウム病(低温型)の防除効果



平成25年 日本曹達(株) [社内試験] 散布: 1月28日

適用病害と使用方法

*印は本剤およびピカルブトラゾクスを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数(倍) | 使用液量 | 使用時期 | 総使用回数* | | 使用方法 |
|-----------------|--------------|-----------------|----------------------|------|--------|-----------|------|
| | | | | | 本剤 | ピカルブトラゾクス | |
| 西洋芝 (ベントグラス) | ピシウム病 赤焼病 | 1,000~ 2,000 | 0.5 ℓ/m ² | 発病初期 | 5回 | 5回 | 散布 |
| | | 200~400 | 0.1 ℓ/m ² | | | | |

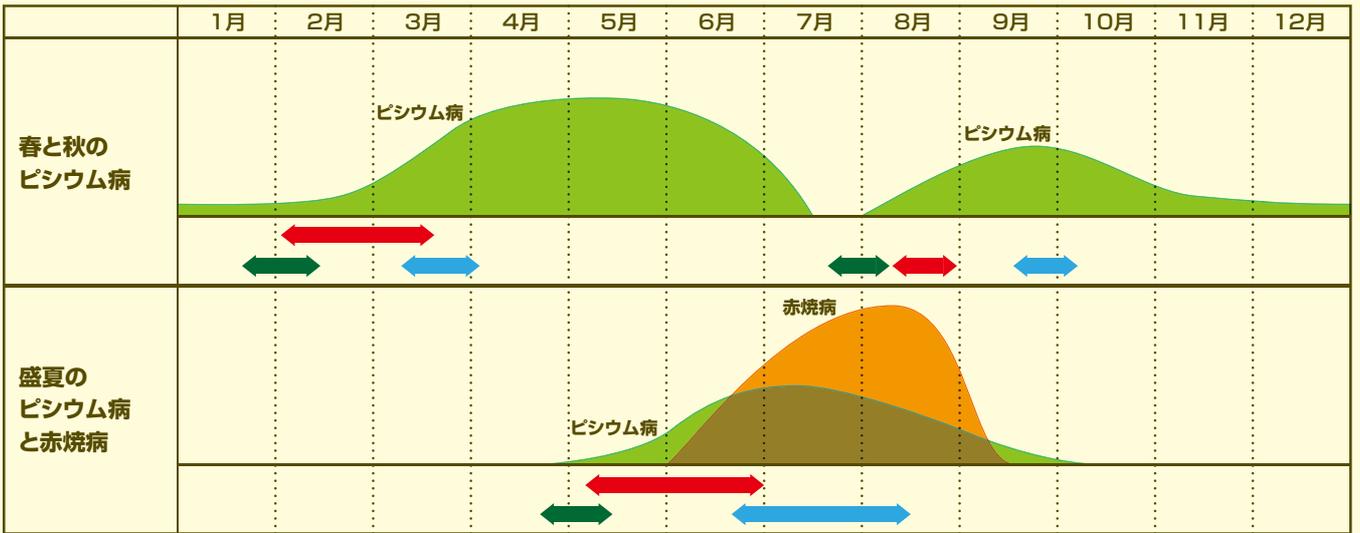
上手な使い方

発病前～発病初期にクインテクト顆粒水和剤と他のピシウム病に有効な薬剤を体系散布してください。
特にプレビクール®N液剤との体系散布がおすすめです。

※プレビクールはバイエルクロップサイエンスの登録商標

【ピシウム病害の発生消長と体系防除】

←クインテクト顆粒水和剤 → プレビクール®N液剤 ←他治療薬剤



混用事例

以下の薬剤との混用では、ベントグラスに薬害は観察されませんでした。

| 薬剤名 | 判定 | 薬剤名 | 判定 | 薬剤名 | 判定 | 薬剤名 | 判定 |
|-------------|----|--------------|----|--------------|----|------------------|----|
| アセルプリン SC | ● | エイゲン水和剤 | ● | ターフトップ DF | ● | ファンターフ顆粒水和剤 | ● |
| ガードワン水和剤 | ● | フルスウィング顆粒水和剤 | ● | タフシーバフロアブル | ● | ヘリテージ顆粒水和剤 | ● |
| スカウトフロアブル | ● | エンバー MC | ● | トップグラス DF | ● | ポディーブロー水和剤 | ● |
| スタンガーフロアブル | ● | ガイア顆粒水和剤 | ● | トップティー水和剤 | ● | ポリオキシン Zドライフロアブル | ● |
| スミチオン乳剤 | ● | カシマン液剤 | ● | トップバスター顆粒水和剤 | ● | マネージ乳剤 | ● |
| ダイアジノン S ソル | ○ | グラコーン水和剤 | ● | バナーマックス液剤 | ● | モノクタジンフロアブル | ○ |

●:混用可。 ○:混用で凝集はあるが、攪拌すれば散布可。

△ 効果・薬害等の注意

- 過度の連用をさけ、なるべく作用機構の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

■包装：500g × 4 袋

△ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

この資料は2017年4月現在の登録に基づいて作成しています。

販売元  **株式会社 ニッソーグリーン**

〒100-0005 東京都台東区上野3丁目1番2
☎03-5816-4351 <http://www.ns-green.com/>

製造元  **日本曹達株式会社**

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号